

# 歌川広重 保永堂版『東海道五拾三次 絵巻』刊行に寄せて 小林 忠

学習院大学名誉教授・国際浮世絵学会会長



浮世絵は、二世紀半にもわたって平和が続いた江戸時代の美術の華であり、いまや世界に知られた日本の誇る文化遺産である。その浮世絵は、主として本版色刷りの版画によって多くの人々の目に心を喜ばせ、楽しめたものであった。中でも歌川広重（一七九七～一八五八）の保永堂版『東海道五拾三次』は、もつとも親しまれ、長く制作し続けられた、浮世絵史上最大のベストセラーであり、近代に入つても版行が続いた最長のロングセラーであった。

東海道は、江戸（今日の東京）と京都を結ぶ幹線道路として整備され、参勤交代の武士や商用の町人、伊勢参りなどの社寺参詣を楽しむ老若男女など、各種の人々の往来で賑わつたものであつた。広重は数え年三十七歳になった一八三三（天保四）年に、江戸日本橋から京都の三条大橋に至るまで、途中的五十三の宿場町を漏らさず加えた全五十五図の版画シリーズを、新興の保永堂を版元として完成させた。以後、二十数種類の東海道物を世に送り出した広重であつたが、第一作の保永堂版こそがもつとも出来栄えの優れた傑作として定評がある。



米国のボストン美術館は、ビゲロー・コレクションやスポルディング・コレクションなど、質量ともに優れた浮世絵のコレクションで世界一を誇つてゐるが、保永堂版『東海道五拾三次』もなんと五〇〇点以上を所蔵しているとのことである。その豊富な収蔵品の中から、彫りや摺りが美しく、しかも保存状態が理想的な作品を厳選して、忠実な複製を作成することとなつた。監修にあたつたセーラ・トンプソン氏は、長年にわたり浮世絵担当の学芸員として同館の東洋部で活躍してきたペランであり、私ども浮世絵研究者が深く信頼している専門家である。その鋭い鑑識眼によつて選び出された極上の作品によって、東海道を順次旅する楽しみが味わえるというのだから、まことに有り難く、嬉しい。

しかも、これまで絵巻物の良質な複製で実績のあるTOPPANフォームズ（現TOPPANエッジ）とイーアートの両社が、長尺印刷による絵巻仕立てで、旅の連続感を絶やすことのない夢のようない演出をしてくれるといふ。江戸時代の人々が、それぞれの土地の名所風景や特産品、風俗習慣などを確かめつつ、居ながらにして東海道中の旅を楽しんだと同様の、仮想の旅を中断されることなく一図一図、目で追いや楽しむことができる。美術鑑賞のみならず、日本の古き良き伝統を実感できる歴史の教材として、学校教育や社会人教育にもしっかりと役立てられることだろう。

## 絵巻の五大特色

### 高品質特殊印刷と伝統的加工技術の融合

最新のデジタル印刷技術と巻子表装の加工面での卓越した職人技との融合により、原画の原寸大再現が実現し、完成度の高い絵巻として高品質の魅力を發揮していきます。

### 長尺印刷による「貼りつなぎ」なしの独創性

世界初の「貼りつなぎ」なしの絵巻用画像制作のノウハウを駆使し、一枚の用紙に十メートル以上にもわたる連続画面を同時に印刷する長尺印刷で製作されており、オリジナル作品の持つ画面の魅力を自然体で楽しむことができます。

### 和紙による優れた色彩効果と耐光性

わが国が世界に誇る和紙（鳥の子）と耐光性のあるトナーを使用することにより、従来の印刷インキでは再現不可能だった絵巻特有の質感と抜群の色彩効果を見事に実現。これにより、半恒久的の保存が可能となります。

### 絵巻化による旅の実感と醍醐味を堪能

絵巻本来の鑑賞法（左手で巻きを広げ、左右幅八〇センチ前後に広げて、そのまま右手で巻き込みながら絵を目で追う）により、単独作品を連続画面として鑑賞でき、江戸時代の旅の実感を當時体験でき、絵巻特有の醍醐味を堪能できます。

### 浮世絵版画研究の第一人者による解説書付き

セーラ・E・トンプソン（ボストン美術館学芸員）による

簡潔で精緻な作品解説（英語原文付き）と和英文キヤブショ

ンを添え、名作の真髄を鑑賞する手助けのみならず、貴重な歴史資料・文献としての学術的価値もあります。



▶ 本商品セット・内容 写真上段より、絵巻上巻、桐箱、箱の  
中は黄布で包まれた絵巻下巻、下段は解説書（和英文、6  
折本）、他に桐箱を収納するタトウ箱が付いています。

ボストン美術館・浮世絵ベスト・コレクション

世界初・原寸大再現による完全絵巻化

特別協力 ボストン美術館

保永堂版

歌川広重

東海道五拾三次 絵巻

【上下巻セット】



企画製作 TOPPANエッジ株式会社